岩盤ボーリング柱状図

調査名　二級河川八幡川水系荒谷川支川(73隣a)通常砂防事業に伴う業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象　砂防　ダム・溜池

ボーリング名	Boring No.3	調査位置	広島県広島市佐伯区五日市町下河内(ANo.0+0.00 R-17.50)	北緯	34° 24′ 41.7315″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和3年12月11日～ 令和3年12月13日	東経	132° 20′ 44.1639″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 107.53m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	7.00m	地盤勾配	37° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機製DO型
				エンジン	ヤンマー製NFD10型
				ポンプ	東邦地下工機製BG-3C型

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率(%) / 最大コア長(cm) / RQD(%)	記事	孔内水位/測定月日
1	106.53	1.00		礫混じり砂	暗茶褐 茶褐 灰白 茶褐								下位層である花崗岩由来の砂質土(マサ土)を主体としているルーズな未固結層。表層部には腐食物確認される。	12/11 1.80
2				花崗岩	灰白	w5	h4	E	V	d	DL	gL 0 100	中生代白亜紀の花崗岩。風化の進行が著しく岩芯部にまで及んでおり，マサ化が著しい。軟質化しているが花崗岩組織は明瞭に残存する。	
3												gL 0 100		
4												gL 0 100	細粒花崗岩主体。深度増加とともに強度増加する傾向が認められる。	
5											DM	gL 0 100		12/13 4.60
6						w4	D	IV			DH	gL 0 100	GL-5.00m以深，やや硬質となり軟岩相当の岩盤主体となる。	
7	100.53	7.00												
8														

標準貫入試験

深度	N値	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1.15	3	3 / 350		
1.50				
2.15	14	14 / 300		
2.45	14			
3.15	14	14 / 300		
3.45				
4.15	39	39 / 300		
4.45	39			
5.15	50	50 / 300	300	
5.45	50			
6.15	50以上	50 / 200	200	
6.35	50以上			
7.15	50以上	50 / 200	200	
7.35	50以上			

深度－N値図

原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度(cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	削孔水・送水量(L/min)	排水量(L/min)
		12/11	200	66/ケーシング	打込み/打込みシュー	0.0	0	0.0	W1 0.0	0.0
			120		D/MC	0.0	200	0.0	W4 30.0	30.0
		12/13		66	D/MC	10.0	200			

株式会社荒谷建設コンサルタント